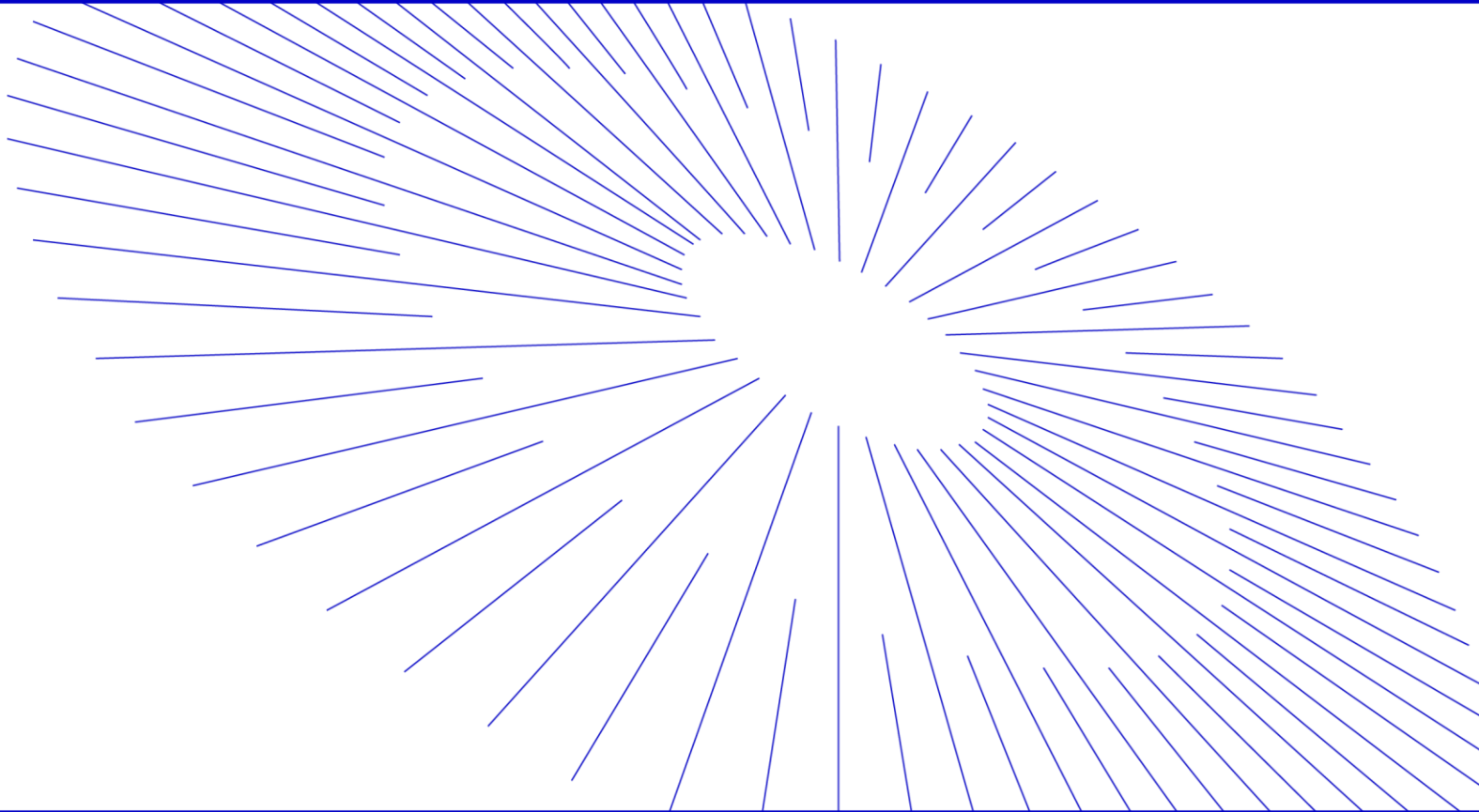


Smart Construction Quick3D

2025.10.7 リリース版について



EARTHBRAIN

Smart Construction Quick3D(以下SC Quick3D)のアップデートについて、以下の日程・内容にてリリースを致します。

日程：日本時間 2025年10月7日(火)(予定) 18:00～20:00

(リリース作業中は、一時的にアプリが使えなくなります。)

- モバイルアプリ：アプリの自動アップデートをONにしていない場合は、App-Storeにて手動でアップデートしてください。
- Webアプリ：本リリース内容については自動的にアップデートされ、ご利用者並びにご利用中のデータにも影響はございません。

アプリ	現行最新	今回リリース
モバイルアプリ	Ver. 2.5.0	Ver. 2.5.0
Webアプリ	Ver. 2.5.0	Ver. 2.6.0

NO.	対象機能	対象	概要	詳細
1	プロジェクト一覧	モバイルアプリ Webアプリ	機能改善です。 出来形ヒートマップのAR表示する際の設計データ(LandXMLファイル)に関して、LandXML自体が複数の“surface”を持っているデータの場合に正しく動作しない現象がありましたので、改善致しました。 ※設計データと、TrendPointで作成するgeotiffは同じ形状である必要がありますのでご注意ください。	左記の通りです。
2	プロジェクト一覧	モバイルアプリ Webアプリ	機能改善です。 Pix4D catchでLiDAR点群の高密度化ボタンを押した場合に、データをアップロードしてもSfM処理できない事があった為改善致しました。	P. 2にて説明しております。
3	プロジェクト一覧	モバイルアプリ Webアプリ	機能改善です。 Smart Construction Dashboardへアップロードした点群名がプロジェクト名となる様に修正致しました。 この事によりSmart Construction Design3DからデータをSmart Construction Quick3Dで生成した点群を読み出す際に、識別しやすくなりました。	左記の通りです。
4	プロジェクト一覧	モバイルアプリ Webアプリ	機能改善です。 4K画質で写真枚数が多い場合や、普通画質でも撮影枚数が多い場合にデータをアップロードできない現象が起こっていましたので、改善致しました。	左記の通りです。

Pix4D catchでLiDAR点群の高密度化ボタンを押した場合に、データをアップロードしてもSfM処理できない事があった為改善致しました。



